

多分野連携で織り成すこれからの医療～アンメットメディカルニーズの充足を目指して～
Approach to the Next Remedy by Multidiscipline Researchers -for Responding to Unmet Medical Needs-

徳永 彩子¹, 芳川 拓真²

¹長崎大院医歯薬, ²九大院工

医療技術の進歩や新規医薬品の開発に伴い完治可能な疾患は増加してきた一方で、有効な治療法が存在しない疾患や、既存の治療薬の副作用などにより治療満足度が低い疾患が未だに数多く存在する。多分野の研究者や医療従事者は難治性疾患の治療法の開発や副作用の軽減を通じ、治療満足度が低い疾患に対する医療技術開発の要望、いわゆるアンメットメディカルニーズに応えようとしている。この多様化し種々の技術や知見を必要とする現代の医療において、新規治療薬開発には単独分野からのアプローチでは不十分であり、様々な分野の研究者が分野ごとの垣根を超えた視点を養い、協調して新たな開発戦略をたてることが必要だと考えた。そこで本シンポジウムでは、「アンメットメディカルニーズの充足」をテーマとして、理学・薬学・医学・工学の4分野から大学院生6人の講演の場を設けた。分野も研究領域も異なる研究者からの演題を設け、各自の知識や最新の知見を交換することで幅広い知識や多角的な視点の習得が期待できる。また、それぞれの領域の知見を集約し、アンメットメディカルニーズの充足に対しての効果的なアプローチ法について議論する。様々な領域の基礎研究が最終的にはアンメットメディカルニーズの充足につながることを再確認し、多分野融合が生む新たな研究のシーズの発見や、今後目指すべき新たな医療を形作る場になることが期待される。